

クリニカルパス通信



「クリニカルパス」用語

バリエーション

アウトカムが達成できない状態

バリエーションの要因

・患者要因

身体的要因、学習能力、家族の希望、合併症の発生など

・病院要因

システム、指示漏れ、実施漏れ、検査・手術が設定できないなど

・社会的要因

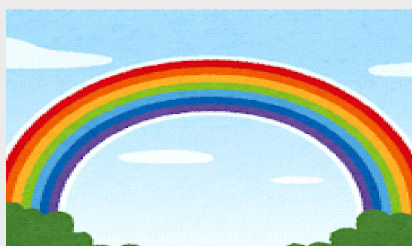
家族、施設、在宅、家族の受け入れ状況が整わないなど

バリエーションの程度

変動：パスに揺らぎを与えるもの。アウトカムや入院期間に影響がない。

逸脱：アウトカムに影響を及ぼすもの。

脱落：パスのプロセスからはずれ、戻れないもの、パスの継続不可能



ミニパス大会

30号でもお伝えしましたが、クリニカルパスの適正運用および周知の目的のために、ミニパス大会を順次行っています。6月9日のミニパス大会では木戸川先生による「ヘルニアパスのバリエーション分析」についてお話いただきました。26名の参加をいただき、ありがとうございます。今後も定期的に行っていく予定です。（今年度はバリエーション分析を中心に行なうことを考えています）

用語としてバリエーションという言葉はむずかしいところがありますが、アウトカムが達成できない状態のことをさします。たとえば、退院期間が伸びる（多くは合併症などによる）負のバリエーションだけでなく、早期に退院できたといったような正のバリエーションも含まれます。ですので、バリエーションがあれば必ずクリニカルパスから逸脱するというわけでもありません。アウトカムに非常に影響を起こすようなものかどうかはあらかじめ逸脱の条件の設定も確認しましょう。

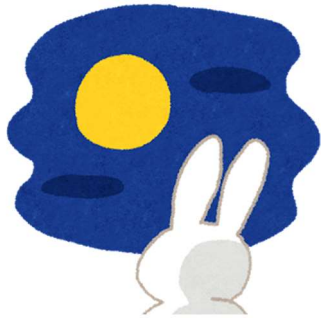
いずれのバリエーションにしても、パスの問題点を明らかにし、また他院との比較を行うなどすることで、クリニカルパスの修正を行うことで、医療の質向上へとつながることになります。

今年度のパス適応率の目標は？

令和5年度
4～6月パス適応率
55.9%

令和5年度
目指せ、
パス適応率
55%!

令和 5 年度
400 件へ!



新パス紹介(4~6月承認分)

循環器内科

- ★ペースメーカー植え込み術

外科

- ★直腸高位前方切除術 (2 日前入院)
- ★皮下腫瘍摘出局麻当日入院

皮膚科

- ★皮膚皮下腫瘍摘出術 (局麻) 当日入院
- ★皮膚腫瘍摘出当日入院 2 泊
- ★皮膚腫瘍摘出前日入院 2 泊
- ★皮膚腫瘍摘出前日入院 3 泊

現在運用中のパスは 372 個
(8 月末時点)

外科・呼吸器外科	159
整形外科	83
小児科	42
形成外科	15
手術室	12
眼科	11
皮膚科	11
脳神経外科	14
循環器内科	7
婦人科	6
看護部	5
泌尿器科	4
内科	2
耳鼻科	1

【2023 年 4~6 月パス適用率】

